

12月5日

聖書 マタイ福音書25章14～30節

三人のしもべのたとえ

25:14 天の御国は、旅に出るにあたり、自分のしもべたちを呼んで財産を預ける人のようです。

25:15 彼はそれぞれその能力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを渡して旅に出かけた。するとすぐに、

25:16 五タラント預かった者は出て行って、それで商売をし、ほかに五タラントをもうけた。

25:17 同じように、二タラント預かった者もほかに二タラントをもうけた。

25:18 一方、一タラント預かった者は出て行って地面に穴を掘り、主人の金を隠した。

25:19 さて、かなり時がたってから、しもべたちの主人が帰って来て彼らと清算をした。

25:20 すると、五タラント預かった者が進み出て、もう五タラントを差し出して言った。『ご主人様。私に五タラント預けてくださいましたが、ご覧ください、私はほかに五タラントをもうけました。』

25:21 主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。おまえはわずかな物に忠実だったから、多くの物を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。』

25:22 ニタラントの者も進み出て言った。『ご主人様。私にニタラント預けてくださいましたが、ご覧ください、ほかにニタラントをもうけました。』

25:23 主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。おまえはわずかな物に忠実だったから、多くの物を任せよう。主人の喜びとともに喜んでくれ。』

25:24 一タラント預かっていた者も進み出て言った。『ご主人様。あなた様は蒔かなかったところから刈り取り、散らさなかつたところからかき集める、厳しい方だと分かっていました。』

25:25 それで私は怖くなり、出て行って、あなた様の一タラントを地の中に隠しておきました。ご覧ください、これがあなた様の物です。』

25:26 しかし、主人は彼に答えた。『悪い、怠け者のしもべだ。私が蒔かなかったところから刈り取り、散らさなかつたところからかき集めると分かっていたというのか。』

25:27 それなら、おまえは私の金を銀行に預けておくべきだった。そうすれば、私が帰って来たとき、私の物を利息とともに返してもらえたのに。

25:28 だから、そのタラントを彼から取り上げて、十タラント持っている者に与えよ。

25:29 だれでも持っている者は与えられてもっと豊かになり、持っていない者は持っている物までも取り上げられるのだ。

25:30 この役に立たないしもべは外の暗闇に追い出せ。そこで泣いて歯ぎしりするのだ。』

序文

三人のしもべのたとえ話



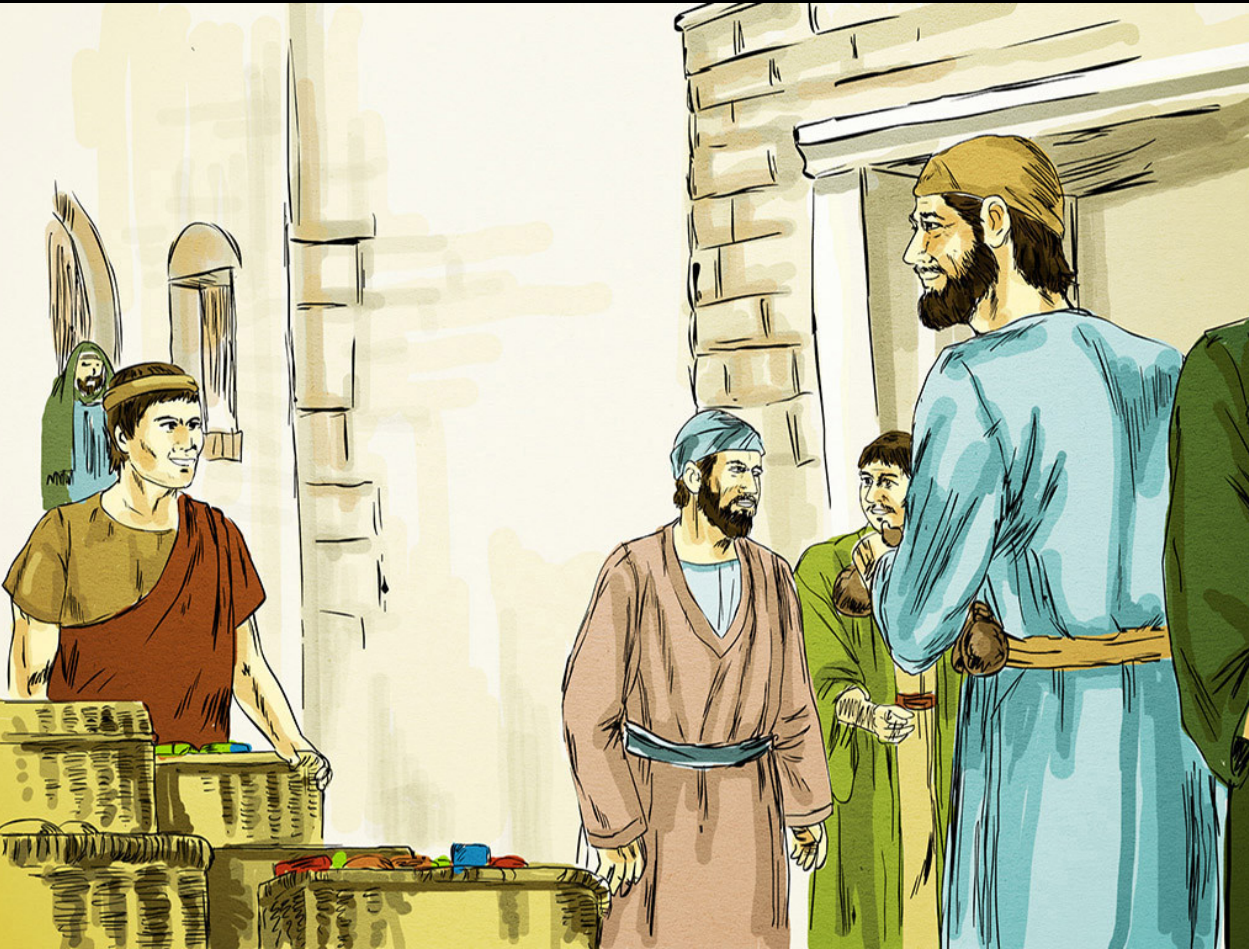
主人



三人のしもべ



忠実なしもべ



不忠実なしもべ



たとえ話の意味は？

- 主人はイエス様
- タラントは神様から与えてくださったもの
- しもべは弟子たち
- 忠実な弟子は、神様のいる天国で報いを受けます
- 不忠実な弟子は、神様の報いを受けることはありませんでした。

クリスチャンはイエス様のしもべ

- クリスチャンの皆も様々な賜物を与えられている
- すべては神様からのもの
- それで、選択は：
 - ① 賜物を忠実に使うのか？
 - ② 隠してしまうのか？

一言証

「おまえはわずかな物に忠実だったから、
多くの物を任せよう」

マタイ25書23節

祈り